

乗鞍岳 火山砂防ハザードマップ

(作成者)
国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所
TEL 0263-33-1115
http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto/

凡 例

火山噴火に起因した
土砂災害予想区域

※乗鞍岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会に
基づき作成した。

- 降灰（厚さ10cm）の影響
を受ける可能性のある溪流
- 土石流到達予想範囲
※降灰後（10cm以上）の降雨
（100年超過確率規模）による
土石流の到達範囲（人家1戸以上）

表示している火山現象の規模

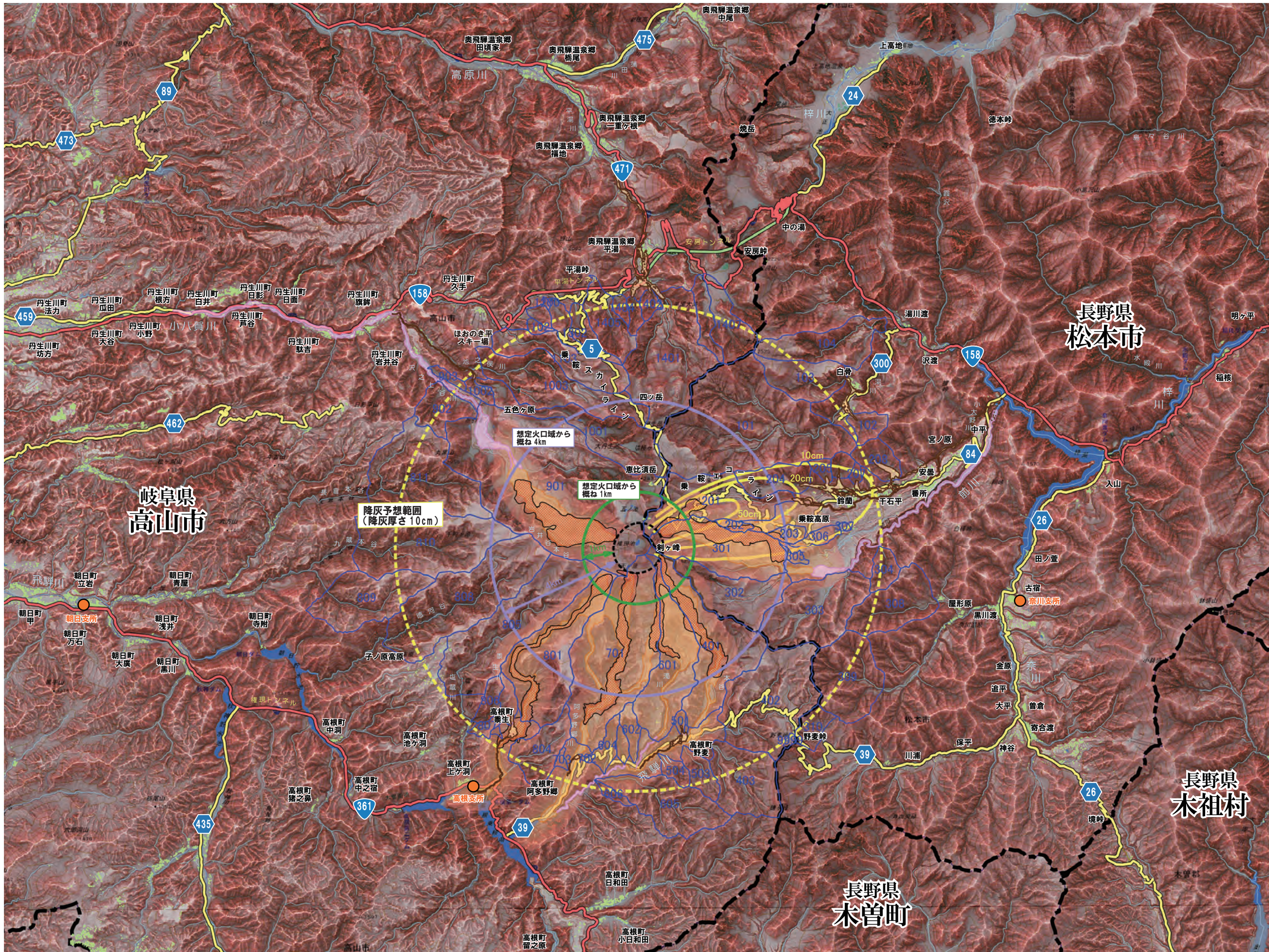
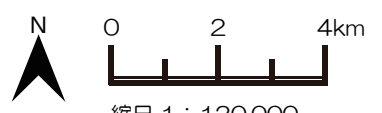
※この図は乗鞍岳火山防災協議会で策定された「乗鞍岳
火山ハザードマップ」（平成29年3月）及び気象庁
発表の「乗鞍岳噴火警戒レベル」（平成31年3月）
に基づき作成した。

- 溶岩流到達範囲
1億m³（噴出率：100m³/s）
- 火砕流到達範囲
200万m³
- 火砕サージ到達範囲
- 融雪型火山泥流到達予想範囲
火砕流200万m³の流下に伴う
周辺地域の年最大積雪量の
平均値から外挿
（剣ヶ峰山頂で3.5mの積雪）
火砕流温度800℃
- 剣ヶ峰想定火口範囲
- 降灰予想範囲
（降灰厚さ10cm）
- 位ヶ原スコリア等層厚線図
- 想定火口域から概ね1km
- 想定火口域から概ね4km

すべての現象が、同時に発生するわけでは
ありません。溶岩流や火砕流、融雪型
火山泥流の影響が及び範囲を重ねて描い
ています。
降灰は、風向きによって全周へ影響を及
ぼす可能性があります。
各現象の想定到達範囲を超えて、影響が
及び可能性があります。

この地図には、地質調査等から明らかにな
った過去の噴火実績をもとに、活火山
の定義である「概ね過去1万年以内に
噴火した」剣ヶ峰周辺を噴火口として
想定しています。
なお、過去1万年以内に噴火した証拠が
確認されていませんが、恵比須岳も
剣ヶ峰に次ぐ若い火口であり、過去1～
2万年前に活動したと考えられます。

- 建物
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 河川（河川名）
- 行政界（市町村界）



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。（承認番号 令元情使、第787号）

地図調製：アジア航測株式会社

縮尺 1：120,000
比高 1：1.5
作成：令和2年1月